

## 第7回高知・香川両県知事会議

開催日：令和5年4月21日（16:00～17:00）

開催場所：高知県立牧野植物園 牧野富太郎記念館

### ○ 司会

それでは、少々早くはございますけれども、ただ今から「第7回高知・香川両県知事会議」を開催いたします。

本日、進行役を務めさせていただきます、高知県総務部長の徳重でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、高知県知事からご挨拶を申し上げます。

### ○ 高知県 濱田知事

高知県知事の濱田でございます。本日は、高知・香川両県の知事会議を開催いたしましたところ、池田知事はじめといたしまして、香川県の皆様方高知まで遠路をお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度に続きまして、コロナ禍がかかっておりましたけれども、今年度も予定どおり開催できますこと大変嬉しく思っております。この会議も、今回で7回目の開催ということになりまして、これまでも両県の課題ですとか、様々な取り組みの状況などに関しまして、情報交換あるいは意見交換をさせていただく中で、大変有意義な成果も得られてきているというふう存じておりまして、この会議も大変有意義に進められてきたというふうに思っております。本日も、南海トラフ地震の対策でございますとか、あるいは四国におきます鉄道ネットワークの整備の問題、さらには本四高速道路の料金の制度の在り方などの問題等々につきまして、活発な意見交換をさせていただければありがたいというふう存じます。

また、本日は、この会議に先立ちまして、県立の牧野植物園をご覧いただきました。ちょうど、今月からNHKの朝の連ドラで「らんまん」という、牧野富太郎博士をモデルにしたドラマが開始をされたところということでございますし、ご覧いただきました中で、牧野博士が自然豊かな高知を愛し、また、非常に旺盛な研究を常にしていただいていたところが少しでもお感じをいただければ、大変ありがたいというふう存じます。

本県におきましては、この「らんまん」の開始に先立ちまして、3月の末から、県内全域を会場というふうに見立てまして、高知県観光博覧会という位置付けで、一大観光キャンペーンを展開をしまいつておるところでございます、「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」というタイトルのもとで、観光博覧会の事業を展開をしているところでございます。そうした中でございますので、ちょうどこの牧野植物園も、昨年と比べてと大体1.6倍ぐらいのペースでお客様においでいただいているというこ

とでございます。

こうした牧野植物園、そして牧野博士の出身地であります佐川町などの代表的なところといたしました、牧野博士のゆかりの地はもちろんでございますけれども、ぜひ、この機会に、香川県の方々にも高知を訪れていただきまして、この高知の全域で草花・自然の美しさ、あるいは食の魅力、歴史文化の魅力、こういったものを楽しんでいただければありがたいというふうに存じているところでございます。

本日の、今回の会議を通じまして、両県の様々な局面での交流がますます深まりまして、両県にとりまして本日有意義な会議ができますことを祈念をいたしまして、私からの歓迎のご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうかよろしくお願い申し上げます。

## ○ 司会

続きまして、香川県の池田知事からご挨拶をお願いいたします。

## ○ 香川県 池田知事

改めまして、こんにちは。香川県知事の池田豊人でございます。今日は、濱田知事はじめ高知県の皆さま方には、この会議の開催に当たりまして、準備をしていただきまして誠にありがとうございます。また、この会議に先立ちまして、知事さんをはじめ高知県の方々にも、牧野植物園をご案内いただきまして、ありがとうございます。

初めて、この植物園にまいりましたが、エンターテインメントの部分と産業の部分、学術的な部分、この3つがうまく融合された素晴らしい拠点だなというふうに思いました。改めて、高知県さんの発想と行動に敬服したところでありまして、また、香川県の今後の地域づくりにも生かせることがあるのではないかとというふうに思います。そして、テレビの「らんまん」で、私も毎日、今朝も見ておりますけれども、牧野博士の、この業績の偉大さを、先ほどの見学でも再認識させていただきました。本当にありがとうございます。

いよいよ、コロナも出口が見えてきてきて、今年はウイズコロナ元年だというふうに、私自身は年頭から思っておりますが、ますますその意を強くしております。これまでの、失った部分も含めて、社会経済を活性化させていく年にしないといけないというふうに思います。

特に観光面については即効性もありますので、力を入れていきたいと思っております。特に香川県の場合は、高松空港に国際線の4路線がコロナ禍前に開設してございましたけれども、おかげさまで先日の日曜日に香港線が再開しまして、3路線再開になりました。このことを生かしながら、観光の振興、インバウンドの誘客を進めたいと思っております。海外の方もそうですし、国内の方もそうですが、香川県だけで、なかなか行こうかとは、あまりならないねと言われております。やはり、四国、瀬戸内というところをセ

ットで考えていく必要があると思っております。高知県さんとは、非常にそういう意味でも、連携をしながら今後とも進めてまいりたいと思います。

特に本日見せていただいたこの地は、そういう意味においても、これから観光商品の造成においても、しっかりと位置付けていきたいというふうに改めて感じたところであります。

香川県の方の話題としては、空海の生誕が1250年という節目になりまして、善通寺を中心にいろんなイベントが今年がございます。また、瀬戸大橋の開通35周年、この間の4月10日がちょうどその日でありましたけれども、それを記念したいろんなイベントもいくつか考えておりますので、そういったところもまた、高知県さんには、ぜひご活用いただければありがたいなというふうに思います。

観光だけではなく、社会・文化交流、あるいは、経済の交流、こういったいろんな交流をぜひ高知県さんと進めていきたいと思っておりますので、今日、その初めになるような有意義な建設的な議論ができればというふうに思っておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。今日は、どうもありがとうございます。よろしく願いいたします。

## ○ 司会

ありがとうございました。それでは、これより意見交換に入らせていただきます。なお、本日の日程といたしましては、17時まで意見交換及び両県PRの時間とさせていただきます、その後、17時15分まで共同記者会見の時間を設ける予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以降は、開催県の濱田知事の進行により意見交換をお願いいたします。

### 1 南海トラフ地震対策について

#### ○ 高知県 濱田知事

それでは早速、意見交換に入らせていただければと存じます。まず、準備をいたしております議題のうち1点目が、南海トラフ地震対策についてでございます。この点は私の方から、まず発言をさせていただければというふうに存じます。

南海トラフ地震の切迫度が、年々高まっているという中でございまして、本県では、様々な対策に取り組んでおります。そうした中で、特に助かった命をつなぐ対策ということで考えますと、災害の応急活動におきます、他県などからの受援体制の強化という点に、問題意識を持ちまして戦略的に取り組んでいるところでございます。

その中では、緊急輸送道路の交通の確保というのが、大変重要でございますけれども、現在、この緊急輸送道路のちょうど下に設置をされております消防用の防火水槽が、耐震性が欠けているものがございまして、これが、地震によって崩落するということになりますと、この緊急輸送道路が通行ができない、あるいはそういうことになりますと、

他県なども含みます援助、受援をはじめといたします、様々な応急活動に多大な悪影響を及ぼすということが懸念をされているという状況でございます。

そのために、この緊急輸送道路の地下にあります耐震性が足りない防火水槽については、耐震化を図る、あるいは撤去をするという対応をする必要がございますけれども、いずれも、この緊急輸送道路というのは、交通量が多い道路である場合が多うございますので、仮に工期が長期化をします耐震化の事業を行うという場合には、この工事を行うための交通規制によって道路がまた使えなくなると、こういった問題がございますし、耐震化の工事を行いましても、火災が発生したときに、この防火水槽を使って水利を得ようとする、また、この間道路が使えないといったような問題が生じる、というような課題があるところでございます。

財政面で言いますと、こうした耐震性が足りない防火水槽を、耐震改修をしようという場合には国の支援制度がございますけれども、これはこの際もう撤去してしまおうと、別の場所に耐震性の防火水槽を整備することで対応しようということになりますと、撤去だけということになりますと、一般的にこの支援をしていただく補助制度、あるいは、地方債の制度というのがございません。

ただ、撤去の費用は、1基あたり1,500万円から2,000万円程度が掛かるということが見込まれておりまして、こういった防火水槽は、財政力が弱い市町村が設置をするという場合がほとんどでございますので、財源をいかに確保していくかというのが、大きな課題となっているのが高知県内の状況でございます。高知県内で調べましたところでは、この緊急輸送道路の下に31基、耐震性に欠けた防火水槽があるということでございまして、これを撤去していこうとしたときの財政の問題ということが大きな課題になっているところでございます。

従いまして、こうした緊急輸送道路にあります耐震性に欠けた防火水槽の撤去をするという事業が、この課題は全国的に共通した課題というふうに我々としては受け止めておりますので、こうした場合に、例えば消防施設の整備費の補助金の補助対象に加えていくということ、あるいは地方債で、有利な制度であります緊急防災・減災事業債の対象の事業に追加するといったような形で、財政的な手当を講じていただくということ、国に対して要望、要求をしていくという必要を感じているというのが、このテーマに関しての私の申し上げたいことでございます。

以上でございます。続きまして、池田知事の方からこの点に関連して、南海トラフ地震に関連してございましたら、ご発言をお願いできればと思います。

## ○ 香川県 池田知事

南海トラフ地震の発生時の被害という面においては、香川県も大きな被害があるということで、重点的な支援を受ける県という位置付けもある一方で、津波の被害等について、高知県さんや徳島県さんとの比較においては、比較的津波の想定の高さも低いとい

うこともあって、四国の防災の拠点としても機能しないといけない、そういう自覚で進めております。

特に、その場合の緊急輸送道路の重要性は大きいものでありまして、国道、高知県さんとの関係では、国道 32 号線ですとか、こういったところは特に重要な路線になると思っております。これまで、この橋梁の耐震補強など集中的にしておりまして、例えば国道 32 号は県内の耐震補強は全て終了するなど、全体で緊急輸送道路の 151 橋のうち 147 橋の耐震対策、橋梁ですね、については終了しております。残りの 4 橋もできるだけ早い時期の完了を目指しております。

今、濱田知事よりご指摘のありました非耐震性防火水槽であります、今、濱田知事よりご提言をいただきましたので、早速、香川県内の、特に 32 号線など重要な路線について状況の調査を早速しまして、この調査結果を踏まえて、撤去も含めた対策が必要なのかどうか、この点について大至急まとめてみたいと思います。この対策について、今おっしゃられたような国の支援が必要になってくる場合においては、高知県さんと歩調を合わせて提言をし、また要請もしていきたいと、このように考えております。

#### ○ 高知県 濱田知事

池田知事、どうもありがとうございます。この件につきましては、香川県さんにおきましても状況を把握をいただくということでございますので、そういったものを踏まえて、私としましては、ぜひ、四国知事会から国に対して様々な提言を行う際にもこの問題を反映できればありがたいと思っております。併せまして、南海トラフ地震によりまして大きな被害が予想されます 10 県の知事会議、これを香川県さんにもご参加をいただいて組織しておりますけれども、こうしたところでも提言活動を例年行っておりますから、こういった中でも議論させていただいて、国に対して働きかけできればいいなと思っておりますので、引き続き、よろしくお願い申し上げたいと存じます。ありがとうございます。

## 2 四国における鉄道ネットワークの維持・活性化と四国新幹線実現に向けた取組みについて

#### ○ 高知県 濱田知事

それでは、2 点目の鉄道、新幹線の問題に関しまして、四国における鉄道ネットワークの維持・活性化と四国の新幹線実現に向けた取り組みについて、議論をさせていただければと思います。

このテーマについては、池田知事の方から口火を切っていただいてよろしゅうございますでしょうか。

## ○ 香川県 池田知事

ありがとうございます。まず、鉄道ネットワークの維持・活性化についての点でございます。これについて、国の方で、鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会、こういったもので議論が行われ、ローカル鉄道の再構築に関する仕組みについての検討が行われているわけですが、これについては引き続きそれぞれの、特に地方の実情に配慮した検討会の運営が行われるように働きかけていかないといけないと思っております。

特にJR四国の経営につきましては、これまで国の方で特別な枠組みにおける支援がされてきておりますけれども、引き続き、この点については国による積極的な支援が不可欠でありますので、高知県さんと協力して、引き続きの国の支援を強く求めていきたいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

また、地方の鉄道については、今年度から、社会資本整備交付金などの対象に鉄道インフラの一部が含まれるということになって、一歩前進をしているところであり、この活用を、現在、香川県においても積極的に考えておりますけれども、今後ともこういった制度がさらに対象の範囲や金額、こういうものをぜひ拡充をしていかなければいけないと思っておりますので、その点についてもぜひ歩調を合わせた要請をお願いできればと思っております。よろしく申し上げます。

それから、次に四国の新幹線についてでありますけれども、リニア中央新幹線が新大阪まで延伸される2037年というのが示されておりますので、それを1つのターゲットとしてその時に四国の新幹線の開業を目指すという中長期目標を掲げております。その実現に向けて、まずは整備計画の格上げに向けた法定調査に上げていく。これが必要な時期に、もうなってきたと思います。先行しております北海道新幹線、北陸新幹線についても開通が見えてきております。こういう時期でもありますので、その次はとにかく四国の新幹線を法定調査にということで、ぜひ、そういう時期だと思っておりますので、協調した取り組みをお願いできればと思っております。

また、平成29年度から、この法定調査の実施につなげていくための、国において幹線鉄道ネットワークなどの在り方に関する調査というのが行われております。これを、さらに内容を進展させて法定調査につなげていくということが必要でありますので、国に対してこの調査の進展を、まずは協調をお願いできればと思っております。

また、制度の助成の拡充等も一緒に進めていかなければなりませんので、四国新幹線整備促進期成会などを中心に、四国で一丸となった盛り上げも併せて進めたいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます、よろしくお願ひいたします。

## ○ 高知県 濱田知事

池田知事、どうもありがとうございました。それでは、この問題についても、私から

も発言をさせていただければと思います。

まず、鉄道ネットワークの維持の問題についてであります。長年にわたります人口減少や高速道路との競合といったような環境がございます上に、ここ数年はコロナ禍や原油価格の高騰というような影響もございまして、鉄道の経営は非常に厳しい状況にあるというふうに考えます。そうした中で、国鉄の分割民営化のときの経緯に戻って考えますと、特に全国の鉄道網の中でも、都道府県境をまたがるような鉄道網をしっかり維持していくということに関しましては、これは、行政の責任分野の問題としては都道府県またがる問題でありますので、国が基本的に責任を持って、しっかりとケアをしていたと、これが筋であろうというふうに思っております。

本県の場合、1番具体的な問題として、テーマになり得る問題といたしますのが、予土線の問題でございまして、これは愛媛県さんと高知県の間の問題ということでございますが、これを含みます四国の鉄道ネットワークの維持ということにつきましても、こうした県境をまたがる路線の維持の問題に関しましては、国がしっかりと責任を果たしていただくと。そしてまた、財源を含めた路線維持に対する支援策を講じていただく。地方の方も、利用促進の努力、盛り上げといったような形で協力をして、この問題の課題の解決を図っていくということが大事ではないかというふうに存じます。

今回、先ほど、池田知事からもお話がございました、国の方では、全国的にローカル線の再構築を考えていく検討会の議論が進められているということでございます、国が一定、責任を果たしていこうというスタンスを示していただくこと、ないしは、池田知事からもお話がございました、鉄道の整備も公共事業の対象としていくという、これはやはり国土交通省が一つの役所になったということの大きな効果ではないかというふうに思います。そうしたことについては前進だというふうに考えるところであります。

ただ、一方で、昨今のそうした全国的な問題は、基本的に収支が合い、なおかつ、もう上場会社にもなりましたJR西日本だとかJR東日本、こういったところの問題として、今はどちらかといいますと議論がされているということではないかと思いますが、JR四国は、これもお話にありましたように、経営基盤が大変弱くて、構造的な赤字体質ということでございます、国の特別な財政支援の枠組みで何とか収支の均衡が図られているということでございますので、その意味では、JR西日本、あるいは東日本の管内のようなことと全く同じような議論ができるような環境にはないということだと思います。その意味で、池田知事もおっしゃったような、地域の実情に応じた議論が必要だということだと思いますので、そんな意味も含めて慎重な議論をしていく必要があるのだろうというふうに考えているところであります。

また、新幹線の問題についても、お話をいただきました四国新幹線の早期実現をというところは、私どもも全く同感でございまして、これも池田知事からお話ありました、2037年に新大阪まで北陸新幹線とか、あるいは、ちょっと厳しいかもしれませんが、リニアも乗り入れが想定されるという時期だということにターゲットを絞ってお

きまして、新幹線もぜひ、その時期までには実現をしたいというのが、これはもう同じ思いでございます。

当面は、今の基本計画から整備計画に格上げをしていただくというのが、なんといっても先決でございますから、これもお話がありましたように、四国の政官民が一致団結をしてしっかりと声を上げ続けていくと。さらなる盛り上がりをつくっていくということが大事だと思いますので、本県としましても、引き続き、法定調査を早期に実現してもらいたいということでの国への提言を行ってまいりたいと思いますので、一緒にスクラムを組んでまいらせていただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

### 3 高松空港を利用した外国人観光客の香川・高知周遊促進について

#### ○ 高知県 濱田知事

それでは、3点目の議題に移らせていただきます。高松空港を利用しました外国人観光客の香川、高知周遊促進についてでございます。この点、冒頭のご挨拶で、池田知事もお話いただきましたけれども、まず私の方から発言をさせていただければと思います。

今、お話がございましたように、インバウンド、海外からの誘客ということを考えますと、やはり、1つの県でこれを完結できるというのは、なかなか難しいなと思っております。隣県と連携をして共同でセールスをして、商品造成をして、PRをしていくということがなんといっても大切だと思っております。その意味で、高松空港を利用されたインバウンドの観光客への共同セールスということにつきましては、本県と連携した取り組みを従来もやっていたいただいております、その点はこの席をお借りしまして、御礼を申し上げたいというふうに存じます。

そして、高松空港便の利用をさらに促すというために、高松空港を起点といたします、両県、あるいは四国内を周遊する魅力的な旅行商品の造成と一緒に取組んでいくということに関しましては、ぜひとも、そういう方向でさせていただきたいと思っておりますし、共同で、海外の商談会やセールスなども連携して一緒にさせていただくと、こんな取り組みも進めさせていただければと思います。

そして、高知龍馬空港の方も新しい動きがございまして、来月、連休明けから半年間、台湾からの定期チャーター便の運航が開始をされるということが決定しております。その意味で、両県のさらなる誘客の拡大のために、高知龍馬空港を起点とした周遊促進の取り組みというのも進めさせていただきたいと思いますので、この点また、香川県さんのご協力もいただければありがたいと思います。

私も先月、台湾へ行ってまいりましたけれども、今回、高知龍馬空港には週2便、水曜日と土曜、定期チャーター便の乗り入れをしていただく。そして、インバウンドで台湾からお越しいただくお客様には、大体4日間から5日間のコースを設定をするということのようでございますが、当然、高知県内の観光地だけではうまくコースが組めない

ということでございまして、香川県さんの金毘羅さんとか愛媛県さんの道後温泉とかを含めて、四国全体でコースを、旅行商品を造成していくということでございますし、ちょうど高知も「らんまん」の話題もございますので、ぜひ、高松空港経由での高知県への誘客というところとも関連をさせる中で、とにかく、四国全体としてトータルでインバウンドの観光客の受け入れ拡大を図っていききたいと、パイを増やしていききたいということで、一緒になって取り組みをさせていただければと思いますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。

続きまして、この点について、池田知事の方からコメントございましたら、お願いいたしたいと思います。

#### ○ 香川県 池田知事

ありがとうございます。冒頭の挨拶でも申し上げさせていただきましたけれど、高松空港の国際線の就航先4つ、ここを中心にウェブサイトとか、そういったSNSを活用した発信現地の旅行会社における観光旅行商品造成の働きかけや販売促進、それから現地でのイベントの観光のPR、こういったものに力を入れております。今年の2月も3年ぶりに台北で観光商談会を高知県さんと連携して開催していただきました。ありがとうございます。このようなことをこれからも4都市対象に進めたいというふうに思います。

特に、今日先ほど、素晴らしい牧野先生の業績を題材にした植物園や、その関連するいろんなものを見せていただきまして、これは今日この機会を機に、旅行商品の中へ取り込みを今一度強化するように、また進めていききたいと思っておりますし、ぜひ、これまでもしていただいておりますけれども、高知の周遊としての拠点についても色々な情報提供をまたいただいて、それを取り込んだ形で観光商品の造成、こういったものに取り組んでいきたいというふうに思います。より一層の、いろんな層といいますか、チャンネルでの情報共有をしながら進めたいと思っておりますので、観光協会の方にも伝えますし、旅行会社の方にもまた伝えたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 4 令和6年度以降の本州四国連絡高速道路を含む「全国共通料金制度」について

#### ○ 高知県 濱田知事

池田知事、どうもありがとうございました。

それでは、次が4点目になりますけれども、令和6年度以降の本州四国連絡高速道路を含みます全国共通料金制度についてということでございます。この点は、本四架橋のお話でもございますし、池田知事の方からお話をまずいただければと思います。

## ○ 香川県 池田知事

本四の料金ですけれども、ちょうど平成26年度から全国共通料金という大きな概念の下で、今の料金水準になっております。これは全国的な料金収入の中で、この料金の維持をしようということになったことから、利用状況をまた見ながらその先を考えようということになっておりまして、令和5年度までの10年の時限措置ということで、今の料金水準が10年前に決定されたということでもあります。もう今年度が、その10年の最後の年になっております。

この料金引き下げ後、この料金のこと等、高知県さん含め、本四高速道路に関係するいろんな県が連携して利用促進に取り組んできて、コロナというものを除けば、本四の利用量は10年前に想定したものにほぼ沿った形で伸びてきているということでもありますので、10年後の継続の必要条件についてもおおむね整ってきているというふうに考えております。

そういったことをきちんと示しながら、この6年度以降も今の料金水準の継続をしていくことを、これは何としても四国全体の経済社会にとって不可欠であると思っておりますので、この料金水準の維持について、高知県さんと一緒に、しっかりと国の方に働きかけていくことをお願いできればというふうに思います。よろしく申し上げます。

## ○ 高知県 濱田知事

どうもありがとうございました。それでは、私も全く賛同する趣旨で一言発言をさせていただきます。

本四の高速道路は、本州四国を結びます大幹線といたしまして人流、物流、そして、大規模災害時には広域応援を支える道路として、経済の面、そして、防災の面、両面で大変重要な役割を担っているというふうに考えています。

本県では、産業振興計画の策定をする中で、地産外商というのを合言葉にいたしまして、高知の産品を県外に売り込んでいくと、外商をしていくということで県産品の県外出荷を進めているわけですが、そうした上でも、また県外の観光客の皆さんに高知においていただく上でも、この本四の架橋の通行料がリーズナブルな水準で提供されることは本当に大事なポイントだというふうに思っています。特に、こうした県産品の販路拡大、観光誘客を我々としては、関西との経済連携をメインに据えて当面拡大していきたいというような戦略を持っておりますので、その基盤として全国共通料金制度の継続というのは不可欠だと思います。

あと、たまたま先日、県内のこうしたペットボトル飲料を製造されている事業者の方からお聞きしたんですが、昨今の物価高とか資材高で、もうコスト上がって大変だと、こういったペットボトル1本辺りとの橋の通行料で、ちゃんと裏は取っておりませんが、1本辺り3円ぐらいのコストがかかっている、これは何としても下げてほしいぐらいだというようなお話も聞いたところでございまして、事業者の方々は今まさにそんな

状況だと思いますので、この全国共通料金制度を使って、まず今のリーズナブルな水準を少なくとも維持をしていくということは絶対必要な取り組みだと思っております。

そうしたことから、瀬戸内海の推進協議会の関係の10府県とも足並みを揃えまして、この制度の継続について、我々も一緒になって取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。

## 5 四国地方の高速交通ネットワークの整備促進について

### ○ 高知県 濱田知事

次に、5番目の議題でございます四国地方の高速交通ネットワークの整備促進についてでございます。この点については、まず私の方から、お礼かたがた発言をさせていただきたいと思っております。

池田知事には、国交省在籍時には、この四国の8の字ネットワークの整備促進に大変なお力添えをいただきまして、ありがとうございます。本県も知事の道路局長在任時に四国横断自動車道の大方四万十道路ですとか、阿南安芸自動車道の海部野根間、そして野根安倉間の直轄の事業化、こうしたことに关しましてご決断をいただきまして、本県の8の字整備を大きく前へ進めていただいたところでございます。

四国の8の字ネットワークに関して申しますと、香川県さんの方はもう100%整備ということでございますが、高知県の方はおかげさまでやっと着手率は90%を超えるくらいまでできましたけれども、現実に整備ができて、また開通ができている区間というのは県内でも6割程度ということでございまして、やはり、先ほどの高速道路の議論と同じでございますけれども、観光の振興であったり、物流であったりといった経済面での効果、そして大規模災害時の地域防災力の向上ということを考えました時に、ぜひとも、この8の字ネットワークの早期の整備を図らなければいけないという思いでございます。

このために、四経連も含めました四国4県合同の提言活動にも積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、道路行政に精通をされております池田知事の格別のご協力、またご指導もいただきながら、粘り強くしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

また、本県は全国的高速道路建設協議会の副会長という立場もいただいておりますので、この全国的高速道路網の整備の必要性、そして予算、財源の確保については、最大限引き続き努力をしてまいりたいと思っておりますので、この点もどうかよろしくお願ひ申し上げたいと存じます。

この点につきまして、また池田知事の方から一言いただければと存じます。

## ○ 香川県 池田知事

私も国交省時代は、この仕事を中心の仕事でございました。今、進捗のお話がありましたけれども、十分な進捗が私が国交省にいたときに果たせなかった部分があるかと思っております。国交省時代にできなかった部分も含めてしっかりと取り組んでいきたいというふうに思います。

とりわけ四国は、橋はできましたけれども、半島性の強い地理的な状況があります。その中で、今高速道路の開通状況は、さらに周遊ができないという形なっておりますので、やはり経済のことを考えると、行き止まりみたいところが非常に弱い、活性化が難しい、これは日本全国見てもそういうことがあろうかと思えます。その上で、8の字という形で周遊性を持つということは、四国全体の物の流れや人の流れを活発にする意味で非常に大きいというふうに思います。

高知・愛媛県境、高知・徳島県境、こういったところの進捗が急がれるわけですけど、そういったところがつながって初めていろんなものが四国中を巡るということになりますので、これは香川県にとっても、そういうところへつながることが経済や社会の活性化につながるというふうに思っております。

私の前職の国交省のこともありますし、今のことも含めて四国の一員として、私からもしっかりと整備促進を働き掛けていきたいと思えます。よろしく申し上げます。

## ○ 高知県 濱田知事

大変力強いお言葉ありがとうございます。ぜひ、よろしくお願い申し上げたいと存じます。

## 6 脱炭素社会の実現に向けた木材利用の促進について

### ○ 高知県 濱田知事

それでは、6番目の議題でございますが、脱炭素社会の実現に向けました木材利用の促進というテーマに関しまして、議題とさせていただければと思えます。この点は、森林県を自負しております高知県の私の方から発言をさせていただければと思えます。

高知県におきましては、昨年3月に脱炭素社会推進アクションプランを策定をいたしました。国の方針にも呼応いたしまして、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、CO<sub>2</sub>の吸収減対策に取り組んでいるというところでございます。このアクションプランを毎年バージョンアップを作業していくという中で、本年度のバージョンアップの中では、特に一つには、いわゆる再生林の対策を抜本強化をして、一旦皆伐をした後の再生林率が今40%程度なんですけど、これを70%程度に上げて、この吸収減対策をしっかりと貢献をしていこうということ。それと併せまして、本県独自に建築物、特に住宅以外の非住宅の建築物の木材利用を促進をする仕掛け、取り組みを始めようという

ことで、今回、条例を設定をするということで取り組みを始めております。

具体的に申しますと、キャッチフレーズ、タイトルのには「環境不動産」というタイトルを掲げまして、木造化あるいは木質化をされました県内の非住宅の建築物であります。具体的には商業施設であったり、オフィスビルというところでございますが、こういったところと4階建て以上の中高層の住宅、こういったものの中で、要は環境に優しいものを環境不動産として認定をすると、そうした中で、特に木材を利用していただいたというような要件を満たしたものにつきましては、税制上の優遇措置、具体的に申しますと、県のレベルの税であります不動産取得税を課税免除をしようとか、あるいは都市計画上の容積率の制限を緩和しようとか、こういった形で全国に先駆ける形でこの制度を作って、木材需要の拡大に取り組もうということを始めしております。今年の4月から実施をしているところであります。

このカーボンニュートラルを実現していくというためには、木材利用の意義というのは大変大きいわけでございますし、この山元へ資金を還元をするということなどを通じまして、切って使って植えて育てるといったサイクルをしっかりと構築をしていくということが、林業の産業としての持続可能性という観点も含めて不可欠だというふうに考えております。

こうした取り組みを、ぜひ全国に広げていきたいというふうに思っております。自治体はもとよりであります。経済同友会をはじめといたしました経済界、あるいは企業の方々も参画をいただきます木材利用推進全国会議というのを組織をしておりますから、こうした会議も通じまして、特に非住宅の建築物を中心とした木材利用を促進をしていくということを進めていきたいと思っております。

これは、だいぶそういう雰囲気は出てきておまして、最近東京の都心でも10階建て以上の中高層の建築で、木造のものを整備していくということがあちこちで始まっておまして、こうした流れをしっかりと後押しをして、これまで以上に香川県さんとも連携をして、木材利用促進の活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうかよろしくご協力をお願いしたいと思っております。

つきまして、池田知事から、この点について何かコメントございましたら、よろしくお願いたします。

## ○ 香川県 池田知事

林業の関係については、規模という面では、香川県の場合は高知県さんとは比較にならないほどの小規模ではございますが、香川ヒノキっていうのがありまして、徳島との間の阿讃山脈の北側が香川県になるんですけれども、そこは結構斜面が急であり、北側なものですから、木にとっては過酷な生育条件になっております。

それが故に、木の年輪のきめが幅が狭いといえますか、おおまかにいうと密なヒノキということで、粘り気があるとか、そういうような特徴があつて、量は限られてるんで

すけれども、香川ヒノキということでは評価をいただいております、ちょうど全国そうだと思いますけれども、刈り取り時期が現時点できてるものですから、せっかくそういった性質のいいヒノキですので、この機に、香川県の県産材をうまく使っていこうというような動きがこここのところ急に高まっており、それを後押しするような施策を進めております。

そういうことで、とりあえず政策の動機付けといいますか、主流は県産材の利用ということで進めてるんですけれども、そういう中で、結果として、隣県の高知県の木材利用の促進につながる部分も必ずそれはあると思いますので、そういう面でぜひいろんなまた技術面のことですか、まだまだ香川県そういった面では、高知県さんにはとても太刀打ちできないところがありますので、ご指導もいただきながら、先ほどの高層建築物への利用とか、そういったところでのまたご指導をいただきながら、木材利用の建築物への促進っていうのを進める中で、高知県さんの木材利用にも協力できる部分があるかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

#### ○ 高知県 濱田知事

どうもありがとうございます。今後、ぜひ両県で木材利用に関しましても連携を深めまして、いろんな情報共有、情報交換なども行なっていくということができればありがたいと思っております。もし香川ヒノキなどの販売促進などに関しましても必要がございましたら、またお知恵を貸せるようなことがあればぜひ貢献をさせていただきたいと思っておりますので、お声掛けをいただければと思います。

また、脱炭素社会の実現という大きな目標に向けても、ぜひこれは連携・協調していければと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひできればというふうに思います。ありがとうございます。

それでは、以上で大体予定をしておりました項目についての意見交換は全て終了いたしましたので、特にあと一言ということがございませでしたら、両県からのPRをお互いにさせていただく時間とさせていただいてよろしゅうございますでしょうか。

そうしましたら池田知事の方から、ぜひPRですけど、口火を切っていただければと。

#### ○ PR項目

#### ○ 香川県 池田知事

一つは、先ほど挨拶で申し上げました弘法大師・空海、ご生誕1250年にあたるという年でございます。善通寺で重要文化財として親しまれてる五重塔というのがあるんですが、これを特別公開の予定がございまして。その他、いろいろ断続的なイベントがこれから開かれますので、また情報提供させていただきますので、関心を持っていただければありがたいと思っております。

それと関連して、PRというか、またご相談させていただきたいと思うんですが、四国遍路、善通寺も札所の一つですけれども、今、世界遺産の登録に向けてということでやってきておりますけれども、ぜひ、それに向けたペースアップをしたいと思ってまして、特にお寺の調査のことですとか、あと遍路道の特定なり手入れとか、そういったことが登録に向けては宿題にもなってるようなので、ぜひまたペースアップを、香川もしないといけないんですけれど、お願いしたいというふうに思います。

それから、もう一つは瀬戸大橋の、これも冒頭に言いましたが35周年でございまして、瀬戸大橋の与島っていうところが、通過する島の、非常に大きい島があるんですけど、サービスエリアがあるところ、そこで、せとうち旅フェスティバル、旅フェスというのを5月に開催の予定にしておりますので、そういったことについても、また機会ありましたらご紹介していただければと思います。よろしく願いいたします。以上でございます。

## ○ 高知県 濱田知事

どうもありがとうございます。お話ありました四国遍路に関しましては、池田知事からお話あったとおりで、まずは国内的にしっかりと文化財価値を確定していくということで、本県でも文化財としての位置付けなり、遍路道の整備に取り組んでおりますが、これは、先ほど観光の議題でもありましたように、やはり先々のインバウンド需要の開拓という点も考えましても非常に有望な取り組みだと思っておりますので、高知県も精いっぱい努力してまいりますので、ただ、この取り組みは、もうかなり香川県さんにリードしていただいて、進めていただいておりますというふうにも思っております、引き続きどうかリードをしていただくということも含めて、よろしく願いできればと思います。

それでは、本県からのPRといたしますか、1点、早明浦ダムのお話について、ちょっと話題提供をさせていただければと思います。

早明浦ダムは四国の水がめであり、四国のいのちとも言われますけれども、本県の嶺北地域に昭和48年に建設をされております。4県の水道・農業・工業用水の供給、そういう意味で水がめということでもございますし、吉野川の下流に住んでおられる皆さんの住民の生活、財産を洪水から守るという意味では、四国のいのちとも言えるようなダムであります。香川県さんにおかれましては、この水源涵養の機能保持のための水源林の除伐、間伐などに関しまして、資金面でのご支援を行っていただいております、その点、本当にありがたく思っております。感謝を申し上げたいと思います。

今年度、水資源機構が主体になって整備・管理しておりますダムでございますので、水資源機構におかれましては、早明浦ダムの再生事業の本体工事に着手をするという予定となっております、早明浦の湖水祭というイベントに合わせまして起工式を行う予定というふうにお聞きをしております。水資源機構からお話があった際には、ぜひ香川

県さんから、四国みんなに対応するというので、ご参加をいただければありがたいというふうに思います。

先般、県議会でも議論があったわけですが、ダム建設 50 年というような節目に際しまして、嶺北の地域の住民の皆さんは、このダム建設時におきましては、住み慣れた故郷を失うといったようなつらい決断をお願いをすると、こういった多大な協力をいただいたというような背景があるということがございます。50 年経過ということで、時間とともに、人々の心からダム建設前の災害、濁水がいかに大変だったかというようなこと、あるいはダム建設でもたらされた地域におきます厳しい状況、こういったことに対します思いが風化しつつあるのではないかというようなお声も聞こえるわけがございます。

この早明浦ダムは四国の発展の礎ともなっておりまして、それに関わりました地域、人々の感謝の意味も含めまして、本県の県内でももちろんでございますけれども、四国全体で将来にわたってこの早明浦ダムの歴史を語り継いでいくということが必要ではないかという思いをこの 50 周年という節目に新たにしているというところでございます。

従いまして、今一度、このダム完成 50 年という機に、建設地となっております高知県の嶺北地域へのご理解を改めてお願いをいたしたいということと併せまして、本県でももちろん頑張っておりますので、香川県さんにおきましても、早明浦ダムの歴史を語り継ぐということに関しまして、機会を捉えてご協力をいただければありがたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

それでは、以上で予定しておりました項目については、一通り終了いたしましたけれども、司会を司会の方に進行をお返しするというのでよろしゅうございます。

#### ○ 香川県 池田知事

はい。ありがとうございます。

#### ○ 高知県 濱田知事

それでは、池田知事、大変有意義な意見交換ありがとうございました。

では、司会の方に進行を返させていただきます。

#### ○ 司会

ありがとうございました。

以上をもちまして、第 7 回高知・香川両県知事会議を終了いたします。円滑なご進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

## ○ 共同記者会見

### ○ 司会

それでは、ここから共同記者会見といたしまして、引き続きこの場で記者の方々からのご質問をお受けしたいと思います。質問される記者の方は、挙手していただきましたら私が指名いたしますので、社名とお名前をご発言の上、ご質問をお願いいたします。どなたからでも結構でございますので、ご質問をお願いいたします。

### ○ 高知新聞社

地元の高知県高知新聞の井上と申します。よろしく申し上げます。

池田知事にまず2点お伺いします。

1点目がインバウンドについてお話がありました。高松空港での4路線のうち3路線が再開されているというお話がありましたけれども、もう少し具体的にインバウンドのお客様の利用の回復状況であったり、今後の見通し、それから、コロナ前後の変化などで感じられることがあったら教えていただきたいです。

あと、2点目が鉄道のネットワーク維持について、JR四国が経営の成り立ちからして国の特別な、国で成り立っているというところがあって、積極的な支援が不可欠で強く求めていくというお話がありましたが、もう少し積極的な支援というところで具体的なお考えがあればお聞かせください。

### ○ 香川県 池田知事

まず、インバウンドでございます。今、4路線再開した中で搭乗率については、コロナ前の搭乗率に匹敵する、ほぼ同じぐらいの搭乗率になっております。8割、9割になっていただいているという状況であります。

一方で、まだ便数については、コロナ前の便数の6割ぐらいでしょうか。そういった状況であることもありまして、インバウンドの県内への入り込みの戻りについては半ばぐらいかなというような状況でありますので、まだまだこれからの回復が急がれるという状況であるというふうに認識しております。

コロナ前と今との比較ということでもありますけれども、特に、香川の場合、瀬戸内国際芸術祭というのが去年5回目を迎えて、非常に評価が定着していることがありまして、島嶼部への観光が非常に、以前よりも関心が高まっているのではないかなというふうに思います。いろんな旅行関係者、その4カ国にお聞きしましたら、やっぱり何が香川の行く動機になるかということ、もちろんうどんというものもあるんですけど、その次に、やはり島嶼部への関心、こういったものが出てきているという、そこについては少し差が出てきているかなというふうに思います。

それと、これはコロナ禍前であっても、いろんな前があるんですけども、やはりコロナで一旦中断してることもあって、やはり買い物に対する意欲っていうのは、こちら

に来て物を買おうというのは非常に強いんだというようなことは、旅行関係者がおっしゃってます。

それから次、鉄道のことですけれども、鉄道については、民間鉄道事業者が責任持って運営するという基本原則があって、これまでなかなか車両とか、架線の補修とか、あいつたものに十分ないわゆる公的補助ができていない。そういうところに今回、先ほど濱田知事にご発言いただきましたが、公共事業の一部として取り入れていこうということが出てきたと。

こういった支援の内容とか量、これを拡大していくことが非常に重要なのではないかなというふうに思います。そういったハード部分を、いきなり上下分離とか、そういうことではないにしても、そういった車両の部分とか架線の部分とか、こういったものを公的な部分でみることで、そのソフトの部分については民間事業者の工夫であったり、それから利用側の促進ということも取り組まないといけないと思いますが、ソフトについてはそういう努力で、連携して維持に向けて取り組めるのではないかというふうに考えております。

## ○ 司会

他にございませんか。

## ○ 高知新聞社

高知新聞の井上です。濱田知事に、では次にお伺いしたいんですけども、また、インバウンドお話で、高知龍馬空港でのチャーター便のこれから始まることについて、高知龍馬空港を拠点とした周遊促進についてのお話がありました。実際、高松空港ではすでに定期便も周遊していますし、何かこう売り込み方であったり旅行商品の企画とかで、香川県との連携で、習いたいじゃないですけども、どういった期待感があるかちょっとお伺いしたいですが。

## ○ 高知県 濱田知事

お話がありましたように、この5月の連休明けからですね、高知龍馬空港、海外の定期チャーター便は初めての経験でございますので、そうした中で、タイガーエアーという航空会社の便を、台湾の旅行会社が丸々買い取る形で旅行商品を造成していただくと。そうした中で、4日ないし5日の四国の周遊のコースを基本に組まれるということでもあります。これは本県に取りまして初めての経験ということでもありますので、こうした中で、高知県だけの観光地で組むということに現実なまいてりません。やはり、四国全体の魅力ある観光地を回っていただくということで、台湾の旅行会社様も初めての商品として力を入れるんだというお考えでありますから、そういった旅行会社のお考えに沿った形で、我々もいろいろな観光のルートのご提案であったり、ご協力であったりとかい

うことはしていかないといけないということだと思っています。

その際に、高松空港を利用した便におきまして、香川県さんと共同の形でセールス活動を行わせていただいたり、商品造成のご協力というような取り組みをさせていただいたと、この経験が非常に大きいと思います。さらに、より当事者に近い立場で、この高知龍馬空港便のサポートをしていくということに関しましては、やはり、香川県さんがお持ちのノウハウをいろんなところで学ばせていただいて、県としてバックアップをしていくということも必要だと思っておりますので、そういう意味で今まで以上に連携を密にさせていただいて、香川県さんならではのお知恵、ご経験の経験値の部分もお借りをして、高知龍馬空港も方向としては、定期便化に向けて、そのためには、やはり需要の実績を示さないといけないということがありますので、その点で、高知県としては頑張っていきたいという思いでおります。

○ 司会

他にご質問、ございますでしょうか。

○ 共同通信社

共同通信の高野と申します、よろしくお願いたします。すみません、今日、テーマ6個中4個が交通インフラ関するテーマということで、どういう危機感を両知事が持たれていて、今日この場で協議をして、どういう成果があるのかというのを、すみません、総括的な話で恐縮ですが、両知事にお伺いできればと思います、よろしくお願いたします。

○ 司会

それでは、高知県の濱田知事からお願いたします。

○ 高知県 濱田知事

お話にありましたように、本日のテーマの内多くが鉄道であったり道路であったり、広い意味の交通インフラの整備ということに関してでありました。やっぱり、背景としては、先ほど、池田知事からもお話ございましたように、日本全国の中での立ち位置といますか、交通ということで見た場合に、四国というのが新幹線にしても、高速道路網にいたしましても、特に、大都市部、東京とか大阪、関西、関東とかの大都市部などに比べますと、それは現実として整備が進んできていないということが背景としてあるということだと思えます。

ただ、今後、日本全体を考えた場合に、もう既に人口減少が始まっておりますし、少子高齢化も進んでいくということを考えますと、なかなかそういった公共インフラの整備のための財源の確保というの、今やっておかないと十分な対応ができないという、ちょうど時代の変わり目にあるというような認識、ないしは危機感を持っているところ

でありまして、その意味で、四国の中で本県と香川県さんを比べますと、いろんなインフラの整備も人口集積もより進んでおられるということで、先行されているというふうに、高速道路なんか見てもそれを思います。ただ今池田知事からもおっしゃっていただいたように、四国は1つという認識で、高知の遅れたインフラ整備を進めていくことが、香川県さんの経済とか防災とかそういった取り組みに関してもプラスになっていくんだというふうな思いのもとに、一緒になってやっていただけるということについては、大変ありがたいと思っております。特に、政治関係を動かしていくということを考えますと、単県の力ではなくって、やはり4県の力で足並み揃えて訴えていくということが説得力も増しますし、力を持っていくということだと思いますので、そうした取り組みを、本日のような機会も含めて、意識合わせをして取り組んでいくということについて共同、共通して努力をしていくということが重要ではないかというふうに思っております。

#### ○ 香川県 池田知事

コロナ3年間で、やむえない外出抑制なので、人流・物流が大きく減ったと。これが経済に連鎖的に悪影響を及ぼして、単なる、旅館とか飲食だけにとどまらず、洋服とか化粧品とか、そういうふうに次々と経済のマイナスが出た。この動きが減ることの恐ろしさを体感したところがあると思います。これの反対をやっていくということがこれからの経済活性には大事で、人やものの動きを活発にするということが必要だという、そういう認識でおります。

特に、人口減少が、四国はもとより全国で進んでくる中で、なおさら動きを活発にしていけないと全体じり貧になるというそういう気持ちだし、感じがします。そういう危機感の中で、もちろん、四国はもとよりですけども、日本全体の活性化のためにも、途切れた高速道路のネットワークをつなげ、新幹線をつなげ、こういったことで血液という流れがよくなる、人やものの流れがよくなる。こういったことをとにかく、今、知事がお話されたように、まだ、国力のあるときに急いでやっていけないといけないという、そういうふうに思います。

#### ○ 司会

ありがとうございました。予定の時間がもう少しというところでございますけれども、大体、もう1問ぐらいであれば、お受けできますけれどもいかがでしょうか。よろしいですかね。

それでは、少し時間は残ってはおりますけれど、これで共同記者会見は終了とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。